

令和七年

松香 Komunikado

令和七年九月度 秋季大祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

ただいまは、令和七年度の秋季大祭を、さすがしく斎行させて頂きました。準備して下さった方々、又オンラインを含め参拝して下さいました皆様方に、御礼申し上げます。

本日は、本部から前田先生にお越しいただきまして、十月十二日に行われます綾の聖地エルサレム大本歌祭について、祭典後にお話しいただきます。

八月七日の瑞生大祭の前日に、宣伝使昇進・新任の方々の研修会が開かれました。今年は宣伝使候補が百三十六名、准宣伝使七十二名（内松香が、小久保りつ子様、

九月十四日発行

第三百三十号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二・六三・二一七三

発行責任者 山本 健

富田元徳様の二名）、正宣伝使三十一名（内松香が、塚田照子様、藤田恵美子様、小林善直様、小林久美子様の四名）でありました。

全国で正宣伝使に昇進された三十一名のうち、四名の正宣伝使が、松香分苑の信徒で任命頂いたことは、すごい事であり、これから宣教活動が一層進むものと思っております。

松香分苑の初代分苑長松本松子先生は、「大本の神様のお力がすごくておかげをもらった方は、それを人に伝えないのは、我れ良し信仰」といつも仰っておられ、自らも生涯宣教一筋でこられました。是非、宣伝使の方は、宣教に、時間と労力を割いていただきたく思います。

九月三日、旧暦の七月十二日、聖師様の誕生日には、神集祭最終日の祭典が行われ、機関代表として私も参拝させていただきました。祭典前に教主様の御面会を頂きました。その際に、教主様は「歴代教主様の御苦労があつて今があり、この大切な時期に御用させていただきますのはありがたい。中略、私たちの出来ることをきちつとさせて頂くことが大切」といったお言葉がありました。

来月十月十二日午後四時半から、「綾の聖地エルサレム大本歌祭」が、綾部の綾機平で行われます。松香分苑の十月月次祭は、十時から早めさせていただきますので、よろしくお願い致します。私も、参拝予定ですので、祭典と祭典後のご挨拶をさせていただいた後、直会前十時過ぎには出させていただきます！と思っておりますので、よろしくお願い致します。

お知らせです！ 山口淳一様が、八月二十八日に入信され、松香分苑の直属として、仲間入りされましたので、皆様宜しくお願い致します。山口様は、道場修行前日の八月二十八日に、亀岡駅から、大本に近づくにつれて、ただならぬエネルギーを感じ、黒門の前に立った時には、やっとここにたどり着けたという感情がわいてきて、すぐに入信したいと思われたそうです。

その後すぐに、「入信したい！」とのメールを頂きました。早速手配して無事入信されました。道場修行前日に入信を決められたのは、ご先祖様が必死で案内してくださったものと思います。霊界はすごく急いでいるようです。現在直属の方は、田中真理様、岩間桂子様、尾内人美様、横山一美様、林宗祝様、山口淳一様の六名です。

最後になりましたが、山下祝子様のご尊父様の五十日祭の日に、松香分苑に御礼の玉串を頂きましたので、ご報告いたします。山下様有難うございました。九月十四日に、松香分苑大神様へお供えさせていただきました。

Koran dankon

松香分苑十月度月次祭について

総務部長 小林 善直

十月十二日（日）午前十時から月次祭祭典開始予定です。

当日、午後四時半から綾部綾機平において世界平和祈願「綾の聖地エルサレム大本歌祭」が開催されます。

関西方面の信徒の方は分苑に来苑せずにZOOMにて月次祭りモート参拝にされることをお勧めします。

また、関東地方の信徒の方は分苑までお越しになり、月次祭終了後、綾部へ移動してはいかがでしょうか。

是非とも「綾の聖地エルサレム大本歌祭」へ一人でも多くの皆様と参拝させていただきましよう。

ライブ配信もされますので、移動が無理な方はそちらでの視聴も可能です。

「神島清掃奉仕に参加して」

香風支部 山下 祝子

先日の八月二十四（日）、はりま本苑主催の神島清掃奉仕に、松香分苑の代表として上山登志枝、山下の二名で参加致しました。

本年度は今回で最後の清掃でもあり、例年の同じ時期よりも参加者が多く、近畿県内の信徒の方や本部職員の

方々をはじめ、遠方からは香川本苑からも参加され、総勢五十八名の参加と成ったため、小型船一隻を三班に分けて乗り込み、島への移動となりました。

海上の波は穏やかで、照つける太陽も時々雲間に隠れる状態だったので、日差しはさほどきつくはなかったのですが、一昨年からの松枯れによる被害で木が伐採され日陰は無く、また肌にまとわりつくような蒸し暑さで、思った以上に体力の消耗が激しい作業でした。そのせいか数名の方が、軽い熱中症になりましたが、全員が無事作業を終えることが出来たのはありがたい事でした。

いつもなら翌日も本部の職員の方や、播磨本苑の方が神島へ渡り作業をされるのですが、いつもよりも参加者が多かった為、作業される事が無かったそうです。今年も無事に参加出来ました事を、ありがとうございます。

